

主要施策名:(4)景観まちづくりの推進

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
④便利で快適な 都市づくり	(4)景観まちづく りの推進	(1)戦略的な景観づ くり	441-1	都市再生特別措置法に基づく事務事業	都市整備課
			441-2	都市計画法等に基づく事務事業	都市整備課
			441-3	景観形成推進事業	都市整備課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 立地適正化計画策定事業 【新規採択】	立地適正化計画の策定・公表	庁内会議等の開催	回			0	3
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算		
	対象(玉名市民)	0	0	65817	65817		
投入コスト合計(千円)	0	0	11,416	11,089			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	102.95%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	R元年度開始事業			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	R元年度において、課題整理と基本的な方針を設定したが、R2年度において関係機関協議、庁内検討会議を重ね、各施策との整合性を図りながら誘導区域等の設定を行い、計画案を取りまとめ、R3年度の計画策定へ向け取り組む。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 都市再生特別措置法に基づく事務事業			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	玉名市都市計画の根幹をなす計画の策定である。この計画を策定することで活用できる交付金、補助金が各県庁で増えるので、庁内各部署と連携し、策定することが重要である。	評価責任者 中尾賢治
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 都市計画審議会事業	都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議する。	開催回数	回	0	0	0	1
② 建築確認申請事前確認事務事業	建築確認申請の受付事務を行う。	受付件数	件	240	320	271	270
③ 開発行為・開発行為のいらない証明事務事業	開発行為の受付事務を行う。	受付件数	件	2	1	0	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算					
	対象(受付総件数)	242	321	271	270	投入コスト合計(千円)	20,466	4,717	9,214	8,207		
対象1単位あたりのコスト(千円)	85	15	34	30	コスト評価(対前年比)	***	575.52%	(↑)	43.22%	(↓)	111.86%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 受付処理時間(目標時間以内)	申請書の内容を確認後、控えを取り、原本返還。	分	10	10	10	10
2 受付処理期間(目標時間以内)	22条:申請後関係各課の協議書を取りまとめ、2~3週間以内で県へ送達。 29条:申請を受付し、関係各課の意見をとりまとめ4週間以内に県へ送達	週間	5	10	10	3
* 成果未達成時の理由			4	4	4	3

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	b
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	都市計画審議会については、関係部署との協議を行い開催出来る状況に改善した。令和元年度に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症により延期。 都市計画法に基づく事務については、近年問題が多くみられた位置指定道路の申請について庁内連携の見直しを行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了	
次年度への予算反映(連動) 【27】	都市計画法等の法制に基づく事務のため、現状のまま継続とするが、庁内連携等で改善の余地がある場合には直ちに対応できるよう努める。 都市計画審議会については新型コロナウイルスの状況を見ながらになるが、適宜開催する。			
	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 減額 (細事業名)	都市計画法等に基づく事務事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後来年に向け都市計画の見直しや各種計画が続き、開催回数が増えることが予想されるので、開催の方法を考え新たな会議の方向性を模索する必要がある。	評価責任者 中尾賢治
----------------------	-------------------------------------------------------------------------	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 景観形成推進事業	景観学習会及び景観計画策定委員(H28から景観審議会)会を開催する	会議開催回数	回	2	0	0	1
② 景観資源等掘り起こし・発信事業	景観計画の周知や景観資源や学習活動の情報発信のため広報やホームページを活用する	「広報たまな」掲載数(折込チラシ含む)	回	14	11	1	2
③ 景観活動担い手育成事業	景観に関する学習・情報交流の場として、景観交流会及び学習会の実施	景観交流会及び学習会の開催回数	回	1	0	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(景観交流会の参加人数)	53	70	32		40	
投入コスト合計(千円)	4,281	6,600	2,198		4,591		
対象1単位あたりのコスト(千円)	81	94	69		115		
コスト評価(対前年比)	***	85.67%	(↓)	137.27%	(↑)	59.85%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 玉名市景観交流会の参加人数の推移(市民の景観に対する関心度)	参加人数	人	70	70	70	50
			53	0	32	
2						
* 成果未達成時の理由		景観交流の一環として玉名かるたを利用したかるた大会を開催したが、会場の大きさや各組の人数調整の関係上少ない人数にならざるを得なかったため。				

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化している	c
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	b
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	c
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	c
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	c
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(景観形成の向上は市民全体の益に供するため受益者負担の設定に適さない。)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	R1年度時点においても、玉名市としての屋外広告物条例は制定していない。作成した「玉名かるた」を活用した交流会を実施したが、後期には新型コロナウイルスの影響もあり、積極的に景観交流の場を設けることができなかった。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	屋外広告物条例制定については、熊本県から権限移譲を受けた自治体は未だにないが、近隣自治体にも県からの働きかけが進んでおり、今後移譲を受ける自治体が増えていくことを鑑みつつ、引き続き玉名市らしい景観形成に向けて整備を進めていく。 交流会等については、現時点においても新型コロナウイルス感染症の完全終息には至っていないため、規模縮小も十分に考えられる状況である。そのため、今年度の目標数は低めに設定し、来年度以降は様子を見ながら徐々に目標人数を増やしていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	景観形成推進事業

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	玉名市景観条例に基づき、景観に配慮し申請事務処理を滞りなく行い、景観に対する関心を持ってもらうため新たな生活様式での交流の場を検討する。	評価責任者 中尾賢治
--------------	----------------------------------------------------------------------	---------------